Hatsuyuki キューブアイススライサー

取扱説明書

キューブアイススライサー

●このたびは、初雪キューブアイススライサーをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
●この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
●お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

お客様用

もくじ

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
分解禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

⚠ 警告

お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガの原因となります。

損傷確認

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）

アース端子付コンセント使用のとき

アース線を確実につなぐ

アース工事

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

専用電源

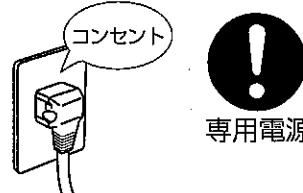
湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

湿気禁止

熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

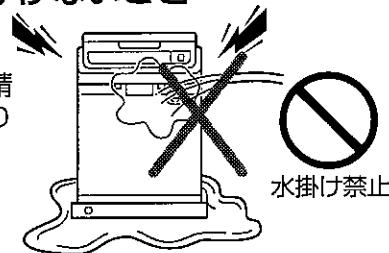
熱でプラスチックが溶けたりして危険です。

熱器具禁止

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。

禁　止

⚠ 警告

製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。

運転中に投入口フタを開けたり、切削室の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。

漏電遮断器を使用している場合、OFF（切）に作動した時には、最寄りの販売会社へ連絡すること

無理にON（入）にすると、感電や火災の原因になります。

異常時は、電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

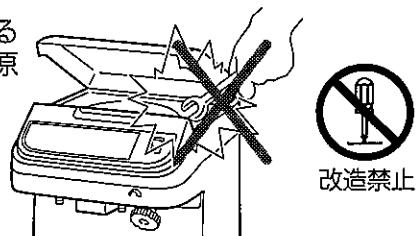
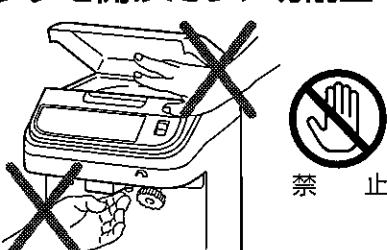
ケガの原因になります。

素手禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと（刃物交換・お手入れ作業は除く）

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

改造は絶対におこなわないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。

屋外で使用しないこと

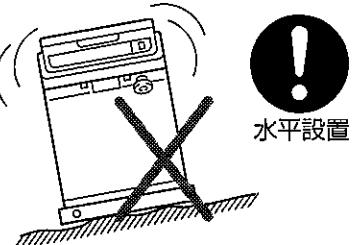
雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。

切削室内を掃除する時は、必ず刃物を切削室内面より下げ、拭く方向は必ず時計方向に拭くこと

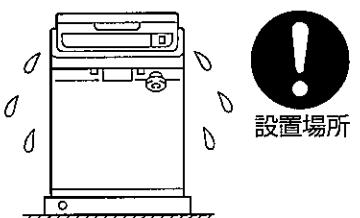
ケガの原因になります。

⚠ 注意

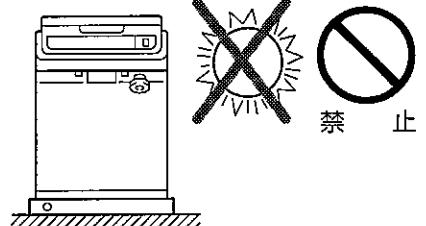
丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

水平設置

水滴が落ちてもよいところに据え付けること

結露の水の洩れ、かき氷の飛び散りなどで周囲の機器を濡らすことがあります。

設置場所

直射日光の当るところで使用しないこと

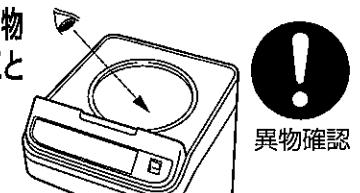
プラスチックが割れたりして危険です。

禁　止

切削室の中に氷以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）は入れないこと

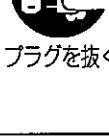
モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。

異物禁止

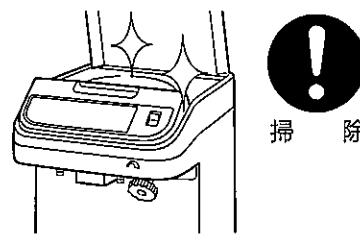
運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグを抜き、削った氷は捨て、氷以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）や刃物の破片が切削室の中にないことを確認すること

異物混入は傷害の原因になることがあります。

異物確認

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出してケガの原因になります。

プラグを抜く

切削室・氷出口は使用前に必ず掃除をすること

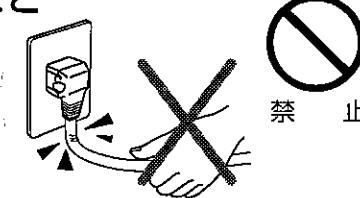
掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。

掃　除

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

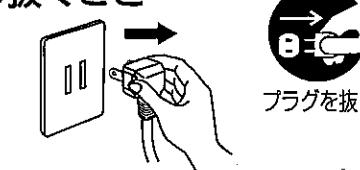
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

禁　止

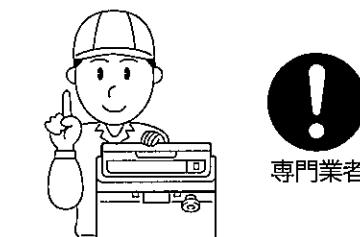
電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

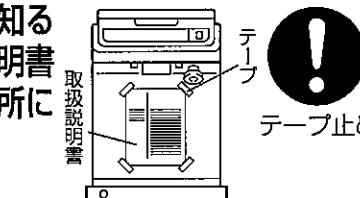
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

禁　止

１日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

プラグを抜く

廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物の廃棄は危険な物として処理してください。

専門業者

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること

テープ止め

各部のなまえとその働き

■使用目的

●本製品はキューブアイスからスライス氷（かき氷）を作るための製品です。
※キューブアイス…製氷機でで作る約3cm角の氷です。
・ロックアイス（不定形の氷）の場合は約3cm角以下にしてご使用ください。
・氷以外のものには使わないでください。

■本体

■本体

HC-27
投入口フタ
開けて氷を投入します。この下に切削室があります。
プロテクター
過負荷でモーターが止まったとき、このボタンを押します。
化粧ビス
氷出口取付板を固定します。刃物交換のときはずします。
氷出口
削られた氷がここからでてきます。
排水口
切削室内・氷出口からの水を受けます。付属の排水ホースを接続します。
バット
切削室や氷出口から落ちた水や氷を受けます。
電源スイッチ
運転・停止の操作に使います。
粗さ調節目盛
刃物の出具合の目安に使います。
取手
運搬するときに使用します。
アース線
万一の感電防止のため必ずアース工事をします。
電源コード
先端のプラグを単相100V専用コンセントにつなぎます。
刃物調節ツマミ
スライスの粗さを調節します。
HC-80
投入口フタ
開けて氷を投入します。この下に切削室があります。
プロテクター
過負荷でモーターが止まったとき、このボタンを押します。
化粧ビス
氷出口取付板を固定します。刃物交換のときはずします。
氷出口
削られた氷がここからでてきます。
排水口
切削室内・氷出口からの水を受けます。付属の排水ホースを接続します。
バット
切削室や氷出口から落ちた水や氷を受けます。
電源スイッチ
運転・停止の操作に使います。
刃物調節ツマミ
スライスの粗さを調節します。
取手
運搬するときに使用します。
アース線
万一の感電防止のため必ずアース工事をします。
電源コード
先端のプラグを単相100V専用コンセントにつなぎます。

■付属品

予備刃物（１個）

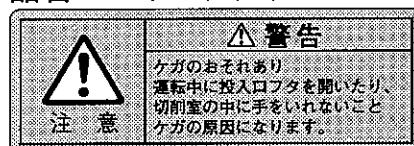
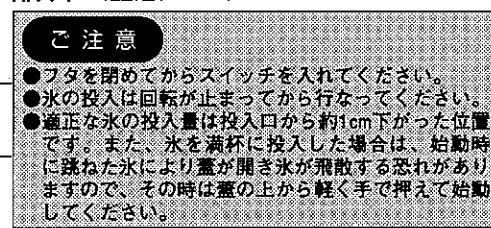
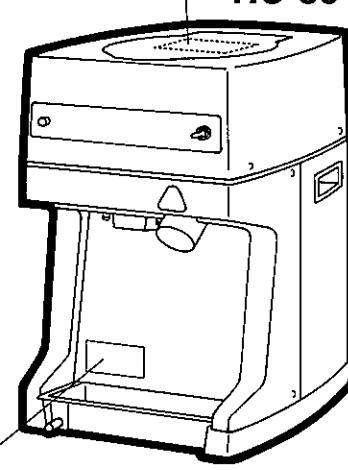
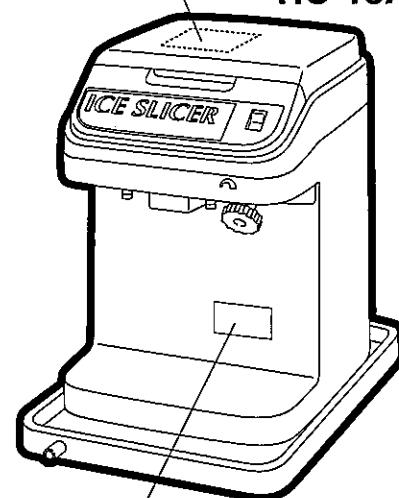
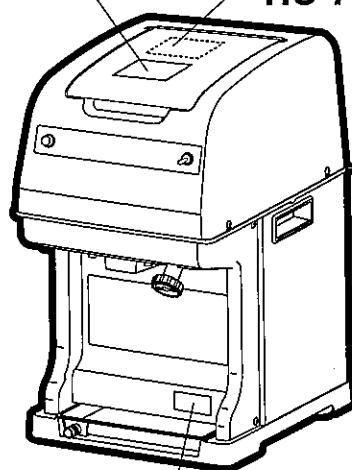
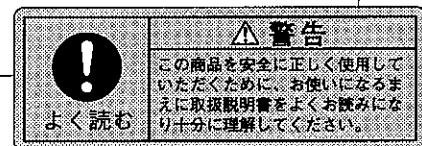
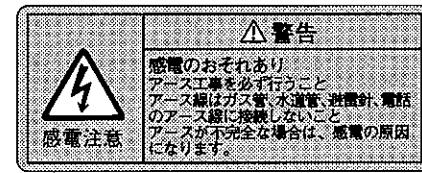
氷旗（１個）

排水ホース（１個）

取扱説明書（本書）

■注意ラベルの貼付位置

お願い

- ●ラベルを剥がさないでください。
- ●ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売会社より購入し、貼り替えてください。
  ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。

設置と運転前の確認

■設置

⚠警告

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）

アース工事

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

専用電源

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。

禁　止

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

湿気禁止

熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。

熱器具禁止

⚠注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

水平設置

水滴が落ちてもよいところに据え付けること

結露の水の洩れ、かき氷の飛び散りなどで周囲の機器を濡らすことがあります。

設置場所

直射日光の当るところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。

禁　止

■運転前の確認

●電源は交流100Vに接続してください。
使用電源電圧は90V～110Vでお使いください。但し発電機は使用しないでください。発電機使用時の故障は保証いたしません。

●排水ホースの接続
バットの排水口に付属の排水ホースをつないでください。その先に排水を受けるバケツ等の容器を置いてください。

●初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどが切削室内・氷出口に入っている恐れがありますので、切削室内の掃除をしてください。（P.13　毎日のお手入れ参照）

■その他

●地域によっては、イベント等での氷削機の使用が許可されていない場合がありますので当該機関（保健所等）までお問い合わせください。

ご使用方法

⚠警告

運転中に投入口フタを開けたり、切削室の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。

禁　止

異常時は、電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

プラグを抜く

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。

濡手禁止

⚠注意

切削室の中に氷以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）は入れないこと

モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。

異物禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

禁　止

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグを抜き、削った氷は捨て、氷以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）や刃物の破片が切削室の中にないことを確認すること

異物混入は傷害の原因になることがあります。

異物確認

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

プラグを抜く

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

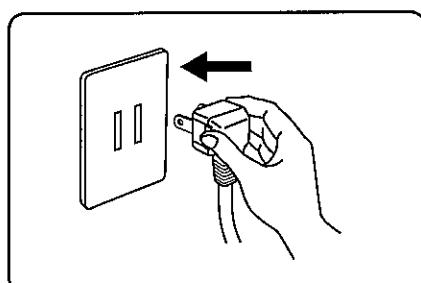
禁　止

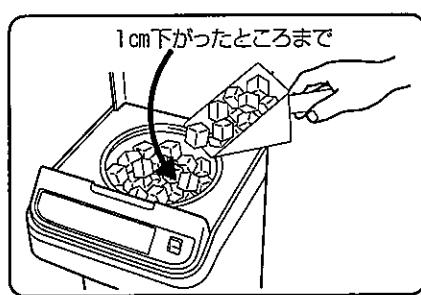
お願い

（1）霜がつくほど冷えた氷は硬すぎて切削には不適当です。透明になるまで待って使用してください。硬すぎる氷を使用して削られた氷は、粉のような「かき氷」になり、綿のような本来の「かき氷」にはなりません。また、刃物の刃先が損傷したりして、削れなくなることもありますので、必ず透明になるまで「ゆるめ」てからお使いください。

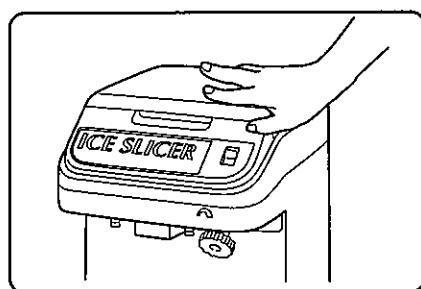
（2）切削室に残ったキューブアイスは取り出せません。「投入量のめやす」（P.9）を参考にしてください。

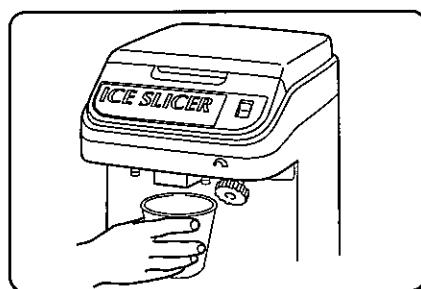
（3）製品の上に物を載せないでください。

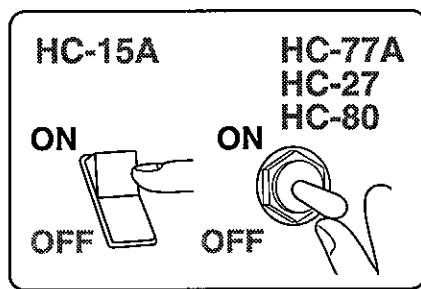
■運転の手順

1 電源プラグを差し込む。

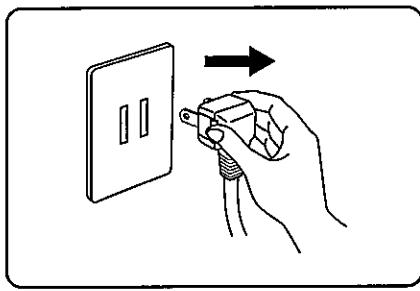
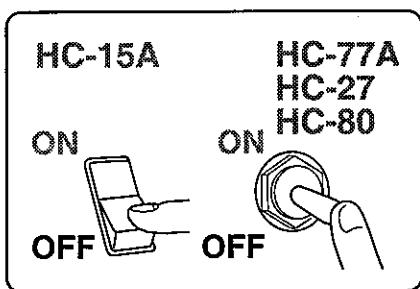
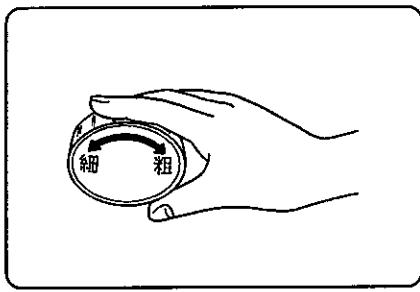
●電源スイッチがOFF（切）になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

2 キューブアイスを入れる。

●製品が止まっていることを確認し、投入口フタを開けてください。
●必要量のキューブアイスを入れてください。
●投入量は投入口から1cm下がったところまでに均一に入れて ください。かたよりは振動の原因になります。
投入量のめやす…1杯200gの場合キューブアイス8～9個
投入可能量…HC-15A（約16個）
HC-77A（約70～77個）
HC-27（約60個）
HC-80（約80個）

※投入したキューブアイスは取り出せませんので必要量を投入してください。

3 投入口フタを確実に閉める。

●確実にフタが閉まっていないと安全スイッチが働き電源スイッチをON（入）にしても製品が動きません。

4 カップなどで受ける。

●氷出口の下にカップなどの容器を受けてください。

5 電源スイッチを入れる。（運転開始）

●電源スイッチ（POWER）をON（入）にしてください。

6 氷削粗さを調節する。

●刃物調節ツマミをまわして、お好みの粗さに調節してください。標準粗さ約1㎜。(切削室内面から刃先までの高さ)
●右へまわすと粗くなり、左へまわすと細かくなります。
●刃物調節ツマミ1回転で約1㎜動きます。(回転可能範囲2～3回転)
●粗さ調節目盛を目安にご使用ください。(HC-27のみ)

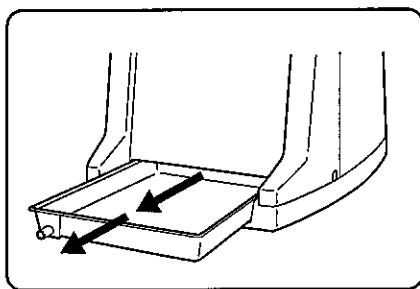
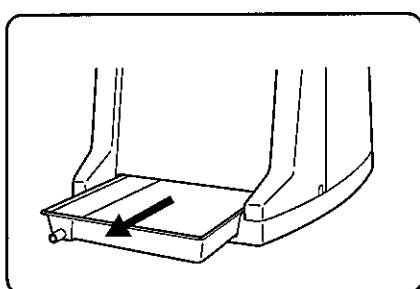
7 電源スイッチを切る。(運転停止)

●電源スイッチをOFF(切)にしてください。

8 使用後は電源プラグを抜く。

●1日の営業が終わったら、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■バットについて

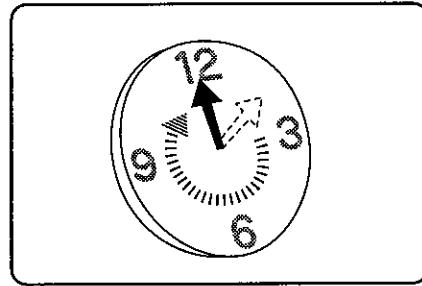
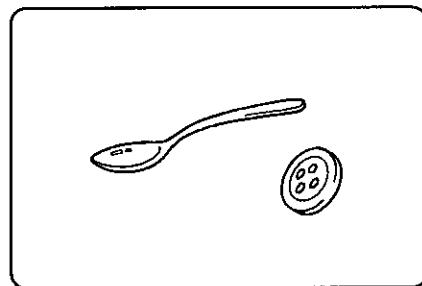
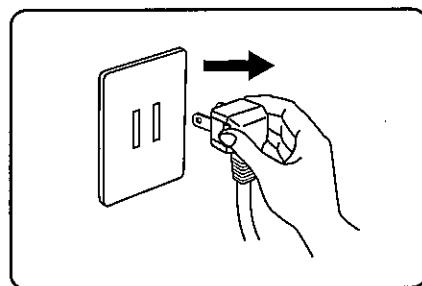
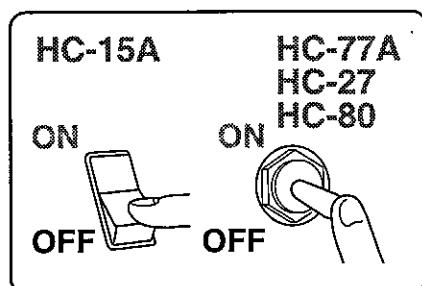
●切削室内の溶けた水・氷出口から落ちる氷及び溶けた水などを受けます。

1 ご使用方法

●HC-77A・HC-27・HC-80のバットは手前に引き出してご使用できます。(約11㎝)抵抗のある位置まで引き出してください。
●HC-15Aは、固定です。

2 取り外し方

●HC-77A・HC-27・HC-80のバットを抵抗がある位置まで引き出してください。少し強く引くと外れます。

■プロテクターについて

●モーターに負荷がかかり過ぎると自動的に製品を止める装置です。
●HC-77A・HC-27・HC-80のプロテクターは電源スイッチ付近に取り付けてあります。
●HC-15Aは、モーターに内蔵しております。
●作動したときは、次の処置をしてください。

電源スイッチをOFF(切)にする。

コンセントから電源プラグを抜く。

過負荷の原因を取り除く。

(例)氷以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）が切削室に入った場合は、刃物を取り外して（P.12参照）から異物を取り除いてください。また、刃物に損傷がないか確認してください。

プロテクターを復帰させる。

●プロテクターの赤いボタンを押して復帰させてください。(HC-27･HC-80･HC-77A)
●HC-15Aは内蔵型ですので、作動したときは上記の（1）～（3）の処置をした後1時間放置してください。自動的に復帰いたします。
※プロテクターがたびたび作動する場合は販売会社にご相談ください。

■安全スイッチについて

●氷削運転中に投入口フタを開けると、危険防止の為、安全スイッチが働き製品が停止します。
●安全スイッチを電源スイッチのかわりに使うことは絶対にしないでください。故障の原因になります。

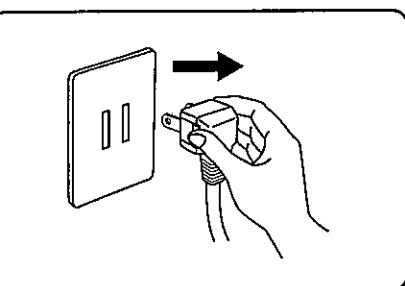
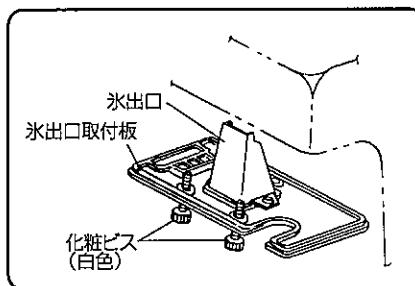
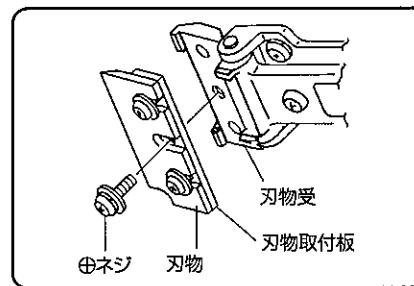
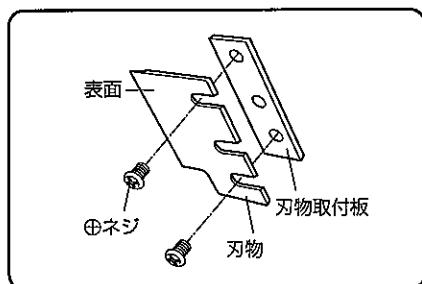
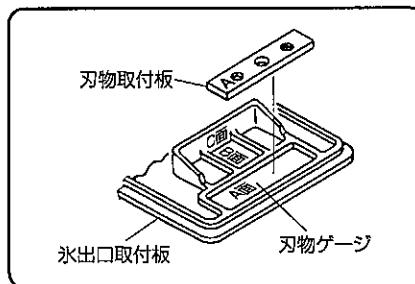
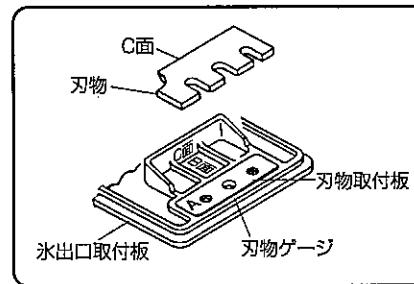
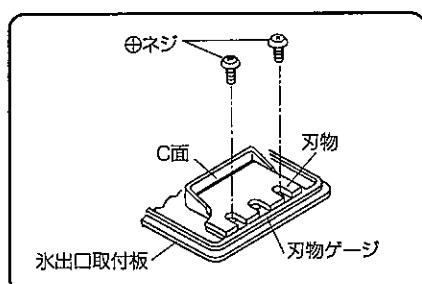
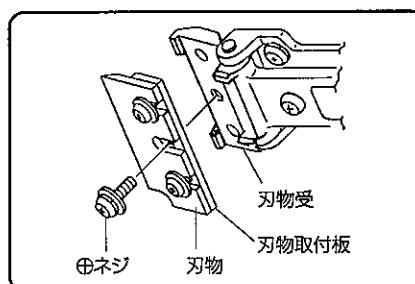
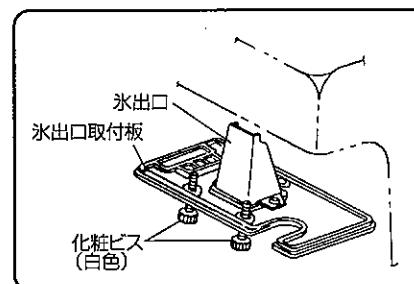
刃物の交換のしかた

⚠ 警告

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと。

ケガの原因になります。

素手禁止

■刃物の取り外し・取り付け方

1 電源スイッチをOFF(切)にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

2 氷出口の周囲にある3本(HC-15A・HC-77Aは2本)の白い化粧ビスをゆるめ、氷出口取付板を取り外してください。(化粧ビスは氷出口取付板から外れません。)

3 刃物受と刃物を取り付けている3本のネジのうち中央のネジを⊕ドライバーで取り外し、刃物・刃物取付板を取り外してください。

4 刃物と刃物取付板を取り付けている2本のネジを⊕ドライバーで外し、刃物を取り外してください。

5 氷出口取付板の裏側にある刃物ゲージのA面に、刃物取付板を刻印Aが上になるように嵌め込んでください。

6 刃物取付板と刃物ゲージB面に新しい刃物を載せてください。

7 刃物ゲージC面に刃先を確実に押しつけて、2本の⊕ネジで締め付けてください。

8 組み立てた刃物を刃物受に嵌め込み、中央の取付穴に⊕ネジを入れ締め付けてください。

9 氷出口取付板を本体に3本(HC-15A・HC-77Aは2本)の化粧ビスで取り付けてください。

お手入れ

⚠警告

製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。

水掛け禁止

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

素手禁止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。

濡手禁止

切削室内を掃除する時は、必ず刃物を切削室内面より下げ、拭く方向は必ず時計方向に拭くこと

ケガの原因になります。

刃物を下げる

⚠注意

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

禁　止

切削室・氷出口は使用前に必ず掃除をすること

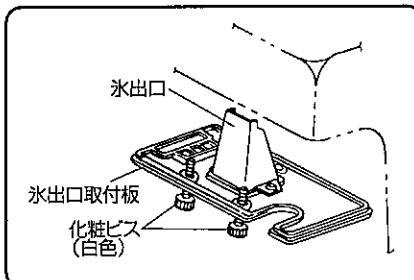
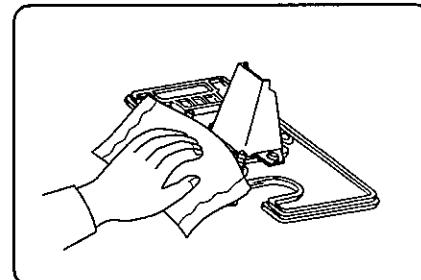
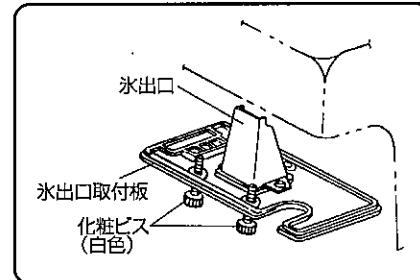
掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。

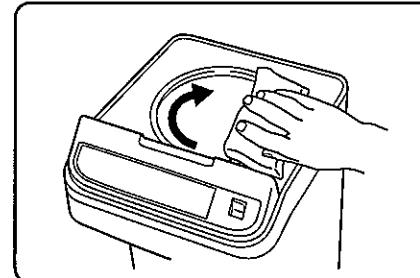
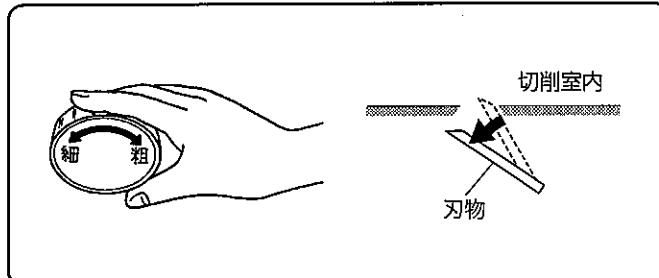
掃　除

お願い

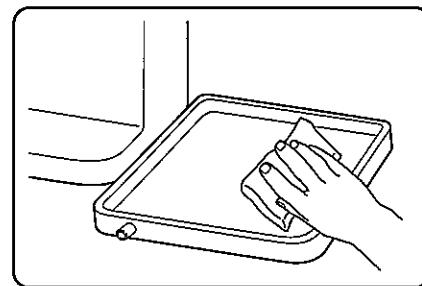
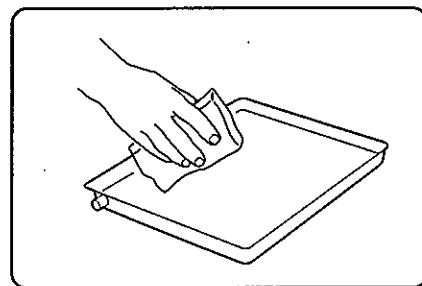
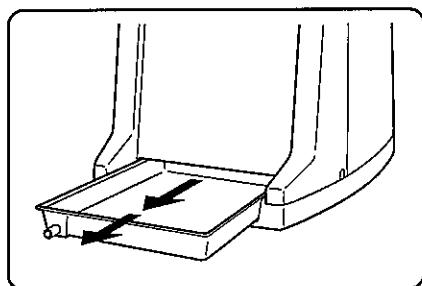
- 40℃以上のお湯で洗わないでください。プラスチックが変形することがあります。
- 塗装面やプラスチック部には、つぎのようなものは使わないでください。表面をいためます。シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・次亜鉛素酸ソーダ・たわしなど。ただし、化学雑巾・アルコール除菌剤をご使用のときは、その「使いかた」に従ってください。

■毎日のお手入れ

●氷出口・氷出口取付板

1 氷出口の周囲にある3本(HC-15A·HC-77Aは2本)の白い化粧ビスをゆるめ、氷出口取付板を取り外してください。(化粧ビスは氷出口取付板から外れません。)

2 ぬるま湯を含ませた布巾でよく拭いてください。氷出口内面はキズが付かないようスポンジ等軟らかいものをご使用ください。キズが付くと氷が詰まることがあります。

3 氷出口取付板を3本(HC-15A・HC-77Aは2本)の白い化粧ビスで取り付けてください。

●切削室

1 刃物調節ツマミを左に一杯にまわして刃物を切削室内面より下げてください。

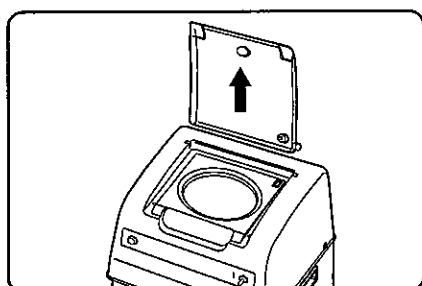
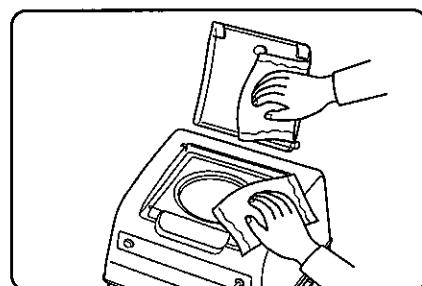
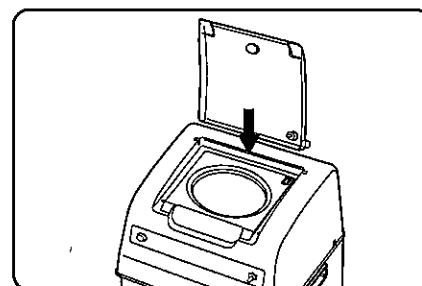
2 柔らかい布にぬるま湯を含ませて時計方向に拭いてください。

●バット

1 HC-77A·HC-27·HC-80のバットは抵抗があるまで手前に引き、少し強く引くと外れます。

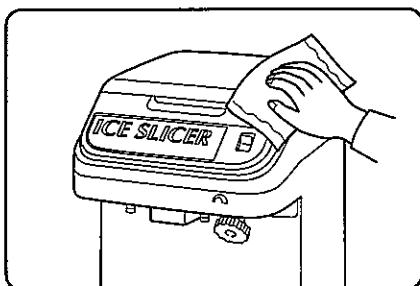
2 ぬるま湯を含ませた布巾でよく拭いたあと、乾いた布巾で拭いてください。

3 HC-15Aは、製品を移動させ、バットをぬるま湯を含ませた布巾でよく拭いたあと、乾いた布巾で拭いてください。

●投入口フタ（HC-77Aのみ）

●頭カバー（HC-77Aのみ）

1 投入口フタは頭カバーに対して垂直に立てて上へ持ち上げると外れます。（他の角度では外れません。）

2 ぬるま湯を含ませたふきんでよくふいたあと、乾いたふきんでよくふき取ってください。

3 お手入れ後は頭カバーに差し込んでください。

■汚れが目立つときのお手入れ

●本体外観

（1）軟らかい布にぬるま湯を含ませて拭いてください。

（2）落ち難い汚れはぬるま湯か水でうすめた食器用洗剤をしみこませた布で拭いてください。その後洗剤分が残らないように水ぶきしてください。

点検

■1年に1～2回の点検

⚠ 警告

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁　止

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

点検掃除

アース線の点検

●アース線は切れたり、接続部がゆるんでいませんか？

異常がある場合は、電気工事店に修理依頼してください。

電源コード・プラグの点検

●専用コンセントを使用されていますか。

他の機器と共用になっているときは、専用コンセントに差し換えてください。

●電源プラグの刃の取り付け面及びコンセントに、ホコリが溜まっていませんか。

ホコリがついている場合は、ホコリを取り除いてください。

●電源コードが傷ついたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、汚れていませんか。

異常がある場合は販売会社または、電気店に相談してください。

■保管方法

一週間以上使用しないときは、製品をを十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

故障の見分け方と処置方法

⚠ 警告

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと
（刃物交換・お手入れ作業は除く）

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

お願い ●故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。販売会社へ連絡するときは、型式・製造番号・据付年月日と故障状況をお知らせください。

現　　象	お調べいただきたいところ	処　置　方　法
製品が動かない	●電源プラグが抜け落ちていませんか？	●コンセントに差し込んでください。
	●投入口フタが開いていませんか？	●確実に閉めてください。
	●プロテクターが作動していませんか？	●プロテクターの項参照。(P.11)
製品は動くが氷が削れない	●刃先が十分出ていますか？	●刃物を出してください。
	●刃物が切れなくなっていませんか？	●刃物を交換してください。

譲渡・廃棄

■譲渡

⚠ 注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めすること

テープ止め

■廃棄

⚠ 注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物の廃棄は危険な物として処理してください。

専門業者

仕様

品　　　　名	アイススライサー			
型　　　　式	HC-15A	HC-77A	HC-27	HC-80
電　　　　源	単相100V 50/60Hz			
定格消費電力	150/180W	250/250W	250/250W	250/250W
定　格　時　間	連続			
氷収容能力 (キューブアイス3㎝角)	約16個	約70〜77個	約60個	約80個
質　量（重量）	13kg	16.2kg	20kg	22kg
外形寸法(幅×奥行×高さ㎜)	295×420×375	290×360×499	330×429×488	293×427×501
氷削能力(標準粗さ)(kg/min)	1.2/1.4	2.5/3.0	2.5/3.0	1.5/1.8